

23 ☒



— ONWARD —

Press

第75期 中間株主通信

2021.3.1—2021.8.31

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード：8016

株主の皆さまへ

株式会社オンワードホールディングス
代表取締役社長
保元 道宣



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第75期第2四半期連結累計期間(2021年3月1日から2021年8月31日まで)の事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当社は、本年4月に策定したオンワードグループ中長期経営ビジョン『ONWARD VISION 2030』において定めた、「ヒトと地球に潤いと彩りを」という新しいミッションステートメントの下、「社員の多様な個性を生かしたお客さま中心の経営」を日々心掛け、「お客さまにとっての価値をお客さま自身と共創できる企業」への進化を目指し、グループ社員一丸となって努力を続けております。

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束せず、依然として先行きの不透明な状況が続きましたが、2019年度より実施しているグローバル事業構造改革の成果が着実に表れています。また、本年4月にスタートした実店舗とオンラインストアのメリットを融合した新業態の「OMO型店舗」も順調に滑り出し、この秋からさらに出店拡大を進めてまいります。

今後も株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、精一杯努めてまいりますので、当社グループの経営に引き続きのご理解ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2021年10月

当第2四半期連結累計期間(2021年3月1日から2021年8月31日まで)の業績概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により持ち直しが期待されたものの、変異株の感染拡大が収束せず、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の対象地域の拡大により、消費マインドの低迷や経済活動が大きく制限される等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社は日本のモノづくり支援を目的に、全国の生産者や工場を対象にオリジナル商品の生産管理・販売支援・販売促進を行うD2C(Direct to Consumer)サポートプロジェクト『CRAHUG(クラハグ)』を開始しました。また、D2Cブランド『#Newans(ハッシュニュアンス)』では、今春より取り組んでいる消費者参画型の「共につくるプロジェクト」において、消費者の声を形にする商品企画を提案するC2C(Consumer to Consumer)モデルを打ち出すなど、新たなビジネスモデルの改革を推進しています。

長期化する緊急事態宣言の影響から売上高



『#Newans(ハッシュニュアンス)』

セグメント別概況

〔アパレル関連事業〕国内事業は、Eコマースを主力販路とするティアクラス株式会社、前連結会計年度に引き続き増収増益となり、中核事

については厳しい状況が続きましたが、一昨年から取り組んできたグローバル事業構造改革の成果が表れ、売上総利益率の大幅改善、固定費削減による販管費率の低下等により、営業損益が改善しました。

以上の結果、連結売上高は807億85百万円(前年同期比0.7%減。前年同期の数値を収益認識基準の変更を反映し、今年度上期と同様の基準に置き換えたベースでは前年同期比4.8%減)、連結営業損失は32億94百万円(前年同期は営業損失109億79百万円)、連結経常損失は28億62百万円(前年同期は経常損失114億54百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は74億48百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失151億88百万円)となりました。

また、営業活動によるキャッシュ・フローは、利益の回復に加えて、棚卸資産などの減少により、9億62百万円(前年同期は△229億14百万円)と大幅な改善となりました。

なお、当社グループでは、当期から「新収益認識基準」を早期適用しています。これにより、百貨店との消化取引(売上仕入取引)において、従来は当社から百貨店に対する卸売販売高(百貨店の仕入高)に基づき計算された金額を売上高としていましたが、当期より小売販売高に基づき計算された金額を「売上高」、小売販売高と卸売販売高の差額を家賃相当額として「販管費」にそれぞれ計上しています。

業会社である株式会社オンワード樫山、グレースコンチネンタルを展開する株式会社アイランドで増収、営業損益を改善しました。

営業概況

海外事業は、グローバル事業構造改革による不採算事業からの撤退の成果が表れ、収益性が改善し、営業損失が縮小しました。

以上の結果、アパレル関連事業全体では減収ながらも営業損失は大幅に縮小しました。

〔ライフスタイル関連事業〕 ウェルネス事業を展開するチャコット株式会社において、主力のバレエ用品に加え、新しいライフスタイルに対応した『Chacott COSMETICS(チャコット・コスメティクス)』『Chacott BALANCE(チャコット・バランス)』が好調に推移した結果、増収・黒字転換した他、

ペット・ホームライフ事業の株式会社クリエイティブヨーコも家ナカ消費に対応した商品が好調に推移し、増収・黒字転換しました。一方、ガムにおいてリゾート事業を行うオンワードピーチリゾートガムINC.等では緊急事態宣言の継続により、減収となり、営業損失を計上しました。以上の結果、ライフスタイル関連事業全体では増収増益となりました。



『Chacott BALANCE
(チャコット・バランス)』

通期の業績予想

今年度下期には、ワクチン接種の進展による規制緩和が進み、経済活動の持ち直しが期待されるものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響は長期化するものと想定され、国内アパレル関連事業の売上高の回復度合いは当初予想より鈍化するものと予想しています。

このため、売上高は、前期比0.7%減(前期の数値を収益認識基準の変更を反映し、当期と同様の基準に置き換えたベースでは前期比5.1%減)の1,746億円を予想しています。なお、グローバル事業構造改革による不採算事業の廃止などによる減収分381億円を除いた継続既存事業

では、前期比で20%増、286億円の増収を予想しています。また、Eコマース売上高は、グループ全体で460億円、前期比で10%の増収を計画しています。

収益面でも、グローバル事業構造改革の効果等により、売上総利益率が改善し、販管費率が低下し、営業損益は前期比で212億円の大大幅な改善を予想しています。その結果、営業損益は10億円の黒字転換を予想しています。当期純利益は、上期に固定資産や関係会社株式の売却益を計上していることなどから、当初計画の63億円を上回る82億円を予想しています。

連結業績ハイライト

(百万円)

	2019.2	2020.2	2021.2	2021.8	2022.2(予想)
売上高	240,652	248,233	175,899	80,785	174,600
営業利益(△損失)	4,461	△3,061	△20,173	△3,294	1,000
経常利益(△損失)	5,161	△3,835	△20,174	△2,862	1,200
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△純損失)	4,948	△52,135	△23,181	7,448	8,200
総資産	287,554	234,316	196,052	165,157	—
1株当たり四半期(当期)純利益(△純損失)(円)	35.24	△383.97	△171.18	54.92	60.47
EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)	13,274	5,079	△14,133	△687	6,940

※2021.2までの数値は、新収益認識基準に変更前の旧基準で表示しています。

アパレル

変化したライフスタイルに応える

機能×ファッションを提案する『UNFILO (アンフィーロ)』が好調スタート

“365日 ふつうの いろいろある でも愛おしい毎日

季節や天気も味方につけて 自分にやさしい服を『UNFILO』から”

株式会社オンワード樫山は、変化したライフスタイルに機能性とファッション性の両面に応えるブランド『UNFILO (アンフィーロ)』を2021年秋にスタートしました。

『UNFILO』は、“365日、どんなシーンでもどんな天候でも気分が上がる服”をコンセプトに、ライフシーンやモチベーションにスポットを当て、「日常に役立つ機能や仕様」と「生活の中で利便性の高いアイテム」に特化し、「気分を高めるファッション性」を加えて提案するブランドです。

お客さまの生活シーンに即した機能性に富んだ技術開発力に加え、当社の認定工場で生産された安心・安全な品質の商品を提供します。この当社独自の強みを活かして、購買後の満足度を高め、継続的なブランドファンの獲得を目指しています。

グループ公式ファッション通販サイト「ONWARD CROSSET (オンワード・クロゼット)」で、8月17日(火)より販売を開始したところ、「ジョーゼットジャージー jog パンツ」は2週間で2,000着が完売するなど、当初の想定を上回るヒット商品が生まれ、好調なスタートを切っています。

お客さまからのご好評を受け、ECと連動したOMO型店舗「ONWARD CROSSET STORE/SELECT」での展開をはじめ、実店舗での接点も増やし拡販してまいります。



2週間で2,000着が完売した
「ジョーゼットジャージー jog パンツ」

お客さまの声

この価格でこの品質はとても良い。生地もしっかりしていて着やすいし、シワになりにくい。さらに色のバリエーションがあればいいな、と思いました。(50代女性)

ネット購入だけど、安いし、失敗したら部屋着にでもしようと思い、購入。結果大正解でした!!スタイルアップして見える!生地もいい!(30代女性)

撥水が効いていて丈も長すぎず、雨の日の外出も気になりません。(50代女性)

アパレル・ライフスタイル

日本の“モノづくり”を再興するD2Cサポートプロジェクト 生産者による直販新規事業『CRAHUG(クラハグ)』を開始 ～工場の販売促進やリブランディングを支援、 サステナブルなモノづくりで地域活性に寄与～

当社は、「ヒトと地球に潤いと彩りを」提供することを存在意義として定め、アパレルやライフスタイルなど幅広い領域で人々の豊かな生活づくりへの貢献を目指しています。オンワードグループのデジタル戦略を担う株式会社オンワードデジタルラボは、日本のモノづくり支援を目的に、全国のファクトリーブランドに加え、生産者や工場オリジナル商品を開発し国内外に直販する新規事業『CRAHUG(クラハグ)』を2021年8月より開始しました。

『CRAHUG』では、自販・自立することで持続可能なビジネスモデルを構築したい全国の生産者や工場を対象に、サポート内容ごとに2つの協業プランを提供し、販売支援を行います。コロナ禍で打撃を受けている生産者や工場が、消費者へ向けてオリジナル商品を直販することにより、工場の経営基盤の安定化を目指します。また将来的には海外への越境販売も計画しており、日本のモノづくりの高い技術や商品の魅力を発信していきます。第一弾として、12の生産者が展開する13ブランド、計168商品の販売を、公式ファッション通販サイト「ONWARD CROSSET(オンワード・クローゼット)」にてスタートしました。



『CRAHUG』クリエイティブディレクター
株式会社KAJIHARA DESIGN STUDIO
代表取締役社長
梶原 加奈子氏

日本のクラフトマンが継承してきた匠のモノづくり。長年積み重ねてきた知恵や工夫から毎日の生活によくなじむモノが作られ、便利な暮らしが育まれてきました。そしてこれからの未来。日本の工場も変化に挑戦し、つくることをつづけていくために、ファクトリーブランドとして自ら発信していく時代です。彼らが導く新時代の快適さや楽しさは、『CRAHUG』は、未来づくりを考える工場と共に思考し、作る人と使う人をつなぐ架け橋となるために立ち上がりました。デジタルとリアルによる出会いに感動し「ひと・もの・こと」にふれて。これからの心が動く暮らしを届けていきたいと思えます。

実店舗とECが連動した新業態「OMO型店舗」を出店拡大

この秋、新たに全14店舗へ

～オンラインストアの商品を取り寄せ、試着、購入可能な
クリック&トライの利用が好調～

株式会社オンワード檜山は、2021年4月にスタートした実店舗とオンラインストアのメリットを融合した新業態「OMO型店舗」を、これまでに埼玉・愛知・千葉・高知の4店舗で展開してきましたが、この秋の出店拡大により、全国13都府県、計14店舗にて展開することになりました。

OMO型店舗『ONWARD CROSSET STORE/SELECT』は、自社のアパレルや雑貨のほか、コスメやフェムテック商品、インテリア雑貨など、ブランドの垣根を越え、他社ブランドも含めて「今、欲しい」と感じられる様々な商品をバリエーション豊富に取り揃えている点と、オンライン上の商品をブランドを問わず取り寄せて試着・購入できる「クリック&トライ」や、「リペア&メンテナンス」などのサービスを導入し、新たな顧客体験を提供している点が特徴です。



阪神梅田本店
「ONWARD CROSSET SELECT」

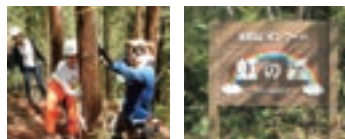
ESG

環境

高知県が推進する「協働の森づくり事業」パートナーズ協定を新たに締結 「土佐山 オンワード“虹の森”」の森林保全活動を継続して実施

株式会社オンワードホールディングスは、環境活動の一環として、高知県が推進する「協働の森づくり事業」について、5期目となるパートナーズ協定を締結しました。

「協働の森づくり事業」は、企業と地域が協働して「森林の再生」と「地域との交流」を柱とした取り組みを行うことにより、持続可能な森林の再生と地域住民との活発な交流を目指すものです。当社は、2008年にアパレル業界で初めて協定を締結し、「土佐山 オンワード“虹の森”」と名づけ、地域の方々の協力のもと、当社社員による森林保全活動を行ってきました。引き続き同森林の保全活動を行うとともに、地域の皆さまとの交流の場としても活用していきます。



ESG

働き方

働き方改革プロジェクト

「働き方デザイン」の取り組みと成果を発表

株式会社オンワードホールディングスと株式会社オンワード樺山は、2019年8月から「働き方デザイン」をスタートしました。「働き方デザイン」とは、業務効率化とワーク・ライフバランスの実現により生産性をあげることを目的に、社員が自発的に取り組み、働き方を変化させていくという当社の働き方改革プロジェクトです。

このプロジェクトに取り組むまでは、会議や資料作成等に追われ、部署によっては長時間残業が慢性化し、物理的な制限として閉館時間を設けるなどの対策を講じたものの、根本的な業務改善には至らず、ときには仕事を家に持ち帰るメンバーもいました。また、会議ではリーダーが多く発言し、メンバーは発言しにくいという雰囲気の部署もありました。仕事の効率化だけが目的ではなく、それによって出来た時間を、新たな発想を形にするチャンス創りに、またイノベーションの創出につなげていきたいという思いで、スタートしました。

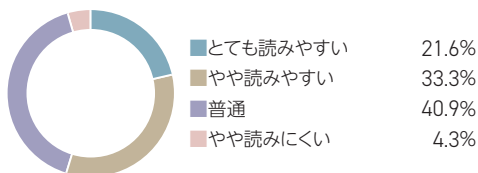
週に一度、普段一緒に仕事をするチーム単位で「自分たちがより良い働き方をするために何をすべきか」を考える会議（通称：カエル会議）を中心に取り組み、業務効率化に伴う残業時間削減や休日取得日数の増加という成果がありました。仕事とプライベートの相乗効果（ワーク・ライフシナジー）の実現によるビジネス面での成果も出始めています。今後は、さらにその効果を高めることを目的に、部署間交流を活発化するための施策を講じる予定です。



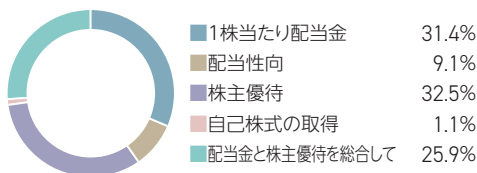
▲2021年2月に行われた100名を超える「働き方デザイン情報共有会」の様子。
(オンワードホールディングス社長の保元、オンワード樺山社長の鈴木をはじめ、多くの役員がフラットな立場で参加しました。)

前回の株主通信で実施しました「WEBアンケート」にご協力いただきましてありがとうございました。以下にアンケート結果の概要をご報告するとともに、いただいた主なご意見・ご要望をご紹介します、ご回答いたします。

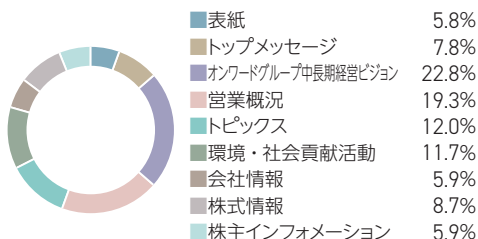
Q1 今回の株主通信について、読みやすさはいかがですか。



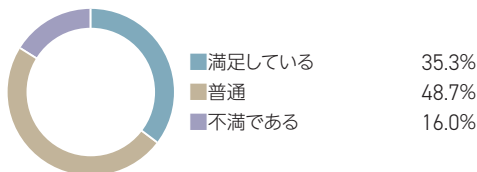
Q3 株主還元につき、最も重視する事項は次のどちらになりますか。



Q2 今回の株主通信について、ご興味のある記事をお知らせください。(複数回答可)



Q4 当社の株主優待について満足していますか。



株主さまからいただいた主なご意見



株主通信にブランドごとのトピックスなどを掲載してはいかがでしょうか。



株価が低迷していることが不満だ。コロナ禍ではあるが、株価が上がるよう早く業績を回復させてほしい。



日本のアパレル業界は厳しい状況が続いているが、オンワードにはファストファッションには無い高品質で魅力的なデザインを維持して業界を引っ張って行って欲しい。

担当者からひとこと



多くの貴重なご意見や励ましのお言葉をいただき、大変ありがとうございます。紙面の関係で、いただいたご意見の一部しか掲載できませんが、今回の株主通信では、いただいたご意見を参考に、ブランドのトピックスを掲載いたしました。

これからも、株主さまお一人おひとりのご期待に少しでも沿えるよう、担当者として精一杯努めてまいります。引き続き、温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

会社情報

会社の概要

(2021年8月31日現在)

社名	株式会社 オンワードホールディングス ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	1947年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粹持株会社としてのアパレル関連事業、 ライフスタイル関連事業を営む傘下関係会社 の経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	114名(連結従業員数:6,528名)
所在地	東京都中央区日本橋三丁目10番5号
主要関係会社	(アパレル関連事業) 株式会社オンワード樫山 オンワード商事株式会社 株式会社アイランド 株式会社オンワードパーソナルスタイル ティアクラッセ株式会社 ジョゼフLTD. ジェイプレスINC. 恩瓦徳時尚貿易(中国)有限公司 (ライフスタイル関連事業) 株式会社大和 チャコット株式会社 株式会社クリエイティブヨーコ 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社KOKOBUY 株式会社オーアンドケー オンワードビーチリゾートグアムINC.

取締役および監査役

(2021年8月31日現在)

代表取締役社長	保元道宣
専務取締役	鈴木恒則
取締役	佐藤修
取締役	池田大介
取締役	川本明
取締役	小室淑恵
取締役	知識賢治
常勤監査役	吉里博一
常勤監査役	一瀬久幸
監査役	梅津立
監査役	草野満代

- (注) 1. 取締役 川本明、小室淑恵、知識賢治の3氏は、社外取締役です。
2. 監査役 梅津立、草野満代の両氏は、社外監査役です。
3. 鈴木恒則氏の戸籍上の氏名は長谷川恒則、小室淑恵氏の戸籍上の氏名は石川淑恵です。

株式情報

株式の状況

(2021年8月31日現在)

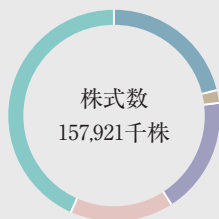
発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	157,921,669株
株主数	30,521名

(注)発行済株式の総数には、自己株式22,309千株が含まれております。

所有者別株式分布状況

■ 金融機関	33,624千株	21.3%
■ 証券会社	3,035千株	1.9%
■ その他の法人	27,938千株	17.7%
■ 外国法人等	25,319千株	16.0%
■ 個人・その他	68,005千株	43.1%

(注)個人・その他には、自己株式が含まれております。



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日	上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
定時株主総会	毎年5月中	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告掲載URL	https://www.onward-hd.co.jp/
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		

大株主

(上位10社)

株主名	持株数	持株比率
公益財団法人樫山奨学財団	8,710千株	6.4%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	6,852千株	5.0%
志野 文哉	5,951千株	4.3%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,779千株	4.2%
オンワードホールディングス取引先持株会	4,881千株	3.5%
日本生命保険相互会社	4,671千株	3.4%
第一生命保険株式会社	4,200千株	3.0%
株式会社三井住友銀行	2,931千株	2.1%
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	2,917千株	2.1%
株式会社三越伊勢丹	2,301千株	1.6%

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式22,309千株を保有しております。
3. 持株比率は、自己株式22,309千株を控除して計算しております。

— ONWARD —

株式会社 オンワード“ホールディングス”

〒103-8239 東京都中央区日本橋三丁目10番5号

TEL.03-4512-1020



この報告書は環境に配慮した
植物油インキを使用しています。